

10月1日からは、1550番**ばん**までです。

さくねんど にんすく とうろくしゃ 昨年度より 200人少ない**登録者**。

しんきとうろくしゃ (9月の新規登録者は 64人)

今年も9月に2回(4日と18日)秋の新規登録があった。2日間で64人が登録し、結果、10月1日からは輪番の最後の番号が1550番になる。

この登録者数は、昨年度より200人、一昨年より290人少ない。新規登録者数でみると、今年が209人、昨年在347人、一昨年在481人だから、新規登録者の減少が、登録者数の減少に大きな影響をあたえているようだ。

たしかに、2010年の国勢調査の結果を見ても、あいりん地域で65歳以上が40%を超え、逆に55〜64歳が30%ほど、54歳以下が25%ほど(年齢不明が5%)となっている。2005年の国勢調査より、65歳以上は5%ほど増え、54歳以下が5%ほど減り、高齢化が進む一方で、若い年代がますます減っている。

釜ヶ崎の高齢化が特掃登録者の減少に影響していることは確かだが、もう一方では生活保護に頼らずに、ぎりぎりの生活でもなんとか働いた収入で生きていきたいという高齢労働者が多くいるのも事実だ。だから行政施策としては、「登録者が減っているから1日の就労人数を減らしてもいい」と考えるのではなく、「できるだけ就労回数が増えて収入が増えるようにする」就労対策、路上やシェルターで寝なくてもすむ寝場所対策、無料低額医療の保障を、一体的に進める「あいりん」対策を確立してほしい。

とくそうけんこうしんだん ほうこく けっかがえ 特掃健康診断の報告と結果返しについて。

ねんど さいせいかいとくべつせいそうけんしん けっか ほうこく <2012年度 済生会特別清掃健診の結果報告>

9月10日から14日の五日間の健診受診者数は891名、すぐ受診した人が67名いました。

今年ことしの健診けんしんでも話しはなを聞かせてもらったが、去年きょねん病院受診びょういんじゅしんをしていたが、途中で中断ちゆうだんしてしまっひとた人も残念ざんねんながら多いおお様ように見られた。さらに、糖尿病とうにょうびょうが重いおも人ひと、アルコールを飲みすぎて肝臓かんぞうの状態じょうたいが良くない人ひとが多おほかった。高血圧こうけつあつどうよう同様とうにょうびょう、糖尿病かんきにしても、肝機能障害のうしやうがいにしても、「痛い」「だるい」などの自覚症状じかくしやうじやうがなかなかあられひず、その日の生活いっしやうけんめいで一生懸命じやうきやうかな状況下で、続けて通院つづすることも難つういんずかしい為むか、状態ためが悪じやうたいくなってからの治療わるが目立ちちりやうます。自覚症状めだがなくても継続じかくしやうじやう的な治療けいぞくてきをお願いちりやうします。これを機きに継続けいぞくてき的な治療ちりやうをするためには、今後こんごの生活せいかつをどうしたらいいか一いっしよ緒かんがに考えてみませんか。

けんしんけっか かがえ <健診結果の返しについて>

10月22日(月)からの週しゅうの数日間すうじつかん、今年ことしも大阪済生会病院おおさかさいせいかいびやういんから医師いしと看護師かんごしが来られて、健診けんしんの結果けっかを返す予定かえです。時間よていは、特別清掃じかんの賃金とくべつせいそうを支払ちんぎんう時間しはらの前後じかんで、場所ぜんごは特掃ばしよ詰所とくそうでおこないます。

日程内にっていないに入った輪番者はいで、結果りんぱんしゃがC判定けっか(治療はんていが必要ちりやう)の人ひつようが優先ひと的に先生ゆうせんてきと話しせんせいをしてもはならうことはずになりますが、外かたれた方きかいもこの機会ぜひせんせいに、是非しんさつ先生せんせいに診察しんさつしてもらって下さい。先生せんせいとのお話しはなをご希望きぼうの方は、診察後粗品かたをお渡しんさつごそしなしいたします。わた

しかし、どうしても来れなこかった方かたは、結果返しけっかがえ後の特掃就労日あとの賃金支払いとくそうしゅうろうび時に結果ちんぎんを返しはらします。同じくC判定じの方は、当日けっかは保健師かえなどが結果おなの説明はんていをさせかたてもらいます。とうじつ

この結果けっかをうけて、高血圧こうけつあつだった方かた、C判定はんていだった方かたは、病院受診びやういんじゅしんが必要ひつようですので、ご協力きやうりよくください。

また、病院受診びやういんじゅしんは1回かいだけでいいものではありません。継続治療けいぞくちりやうするために、生活相談せいかつそうだんもおこなっています。

今後こんごの健康けんこうや生活せいかつの事こと、NPOのスタッフこえに声をかけてください。